

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-527797 (P2005-527797A)

【公表日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2005-036

【出願番号】特願 2003-576903 (P2003-576903)

【国際特許分類】

**G 0 1 G 3/14 (2006.01)**

**G 0 1 G 3/18 (2006.01)**

**G 0 1 G 21/24 (2006.01)**

**G 0 1 G 23/01 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 G 3/14

G 0 1 G 3/18

G 0 1 G 21/24 A

G 0 1 G 23/01 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

荷重導入部 (206) と、荷重支持部 (208) と、少なくとも 1 個のセンサ (28、29) が装備され前記荷重導入部と前記荷重支持部との間を延在してそれらを接続しているコア部とを備えており、前記荷重導入部 (206) に荷重印加部材 (4) を結合する必要があるときには、組付ネジを介して第 1 取付面に荷重印加部材 (4) を結合することができ、前記荷重支持部 (208) に固定取付部材 (3) を結合する必要があるときには、組付ネジを介して第 2 取付面に固定取付部材 (3) を結合することができ、また必要とあらば、前記コア部と前記荷重導入部 (206) との間、ないしは、前記コア部と前記荷重支持部 (208) との間に溝 (209) を形成して、構造的な分離度を高めることができる、荷重トランスデューサ (20) において、

少なくとも前記荷重支持部 (208) に、組付ネジ (36; 46) を螺着するための荷重導入方向に延在する 3 個のネジ孔 (203; 204) が形成されており、それら 3 個のネジ孔の 3 本の中心軸は、それら中心軸に対して直交し前記取付面に沿って延在する平面内において、頂角が前記コア部の方を向いた二等辺三角形の 3 つの角の位置を占めていることを特徴とする荷重トランスデューサ (20)。

【請求項 2】

前記荷重支持部 (208) と前記荷重導入部 (206) との各々に、組付ネジ (36; 46) を螺着するための荷重導入方向に延在する 3 個ずつのネジ孔 (203; 204) が形成されており、前記荷重支持部 (208) の前記 3 個のネジ孔の 3 本の中心軸は、それら中心軸に対して直交し前記取付面に沿って延在する平面内において、頂角が前記コア部の方を向いた二等辺三角形の 3 つの角の位置を占めており、前記荷重導入部 (206) の前記 3 個のネジ孔の 3 本の中心軸は、それら中心軸に対して直交し前記取付面に沿って延在する平面内において、頂角が前記コア部の方を向いた二等辺三角形の 3 つの角の位置を

占めており、前記荷重支持部（２０８）の前記ネジ孔による二等辺三角形の対称軸（６００）と、前記荷重導入部（２０６）の前記ネジ孔による前記二等辺三角形の対称軸（６００）とは、互いに略々平行に延在し、且つ、荷重導入方向に延在する同一平面の略々平面内を延在している請求項１記載の荷重トランスデューサ（２０）。

【請求項３】

前記３個のネジ孔の夫々の間の距離が少なくとも近似的に互いに等しい請求項１又は２記載の荷重トランスデューサ。

【請求項４】

前記二等辺三角形の底辺（６０１）の両端に位置する２個のネジ孔（２０３<sub>B R</sub>、２０３<sub>B L</sub>）の中心軸の間の距離が、前記取付面の境界からそれら２個のネジ孔（２０３<sub>B R</sub>、２０３<sub>B L</sub>）の中心軸までの距離の約２倍である請求項１乃至３の何れか１項記載の荷重トランスデューサ。

【請求項５】

前記コア部が、前記荷重導入部（２０６）を前記荷重支持部（２０８）に対して相対的に平行移動させるように案内する例えば平行四辺形リンク機構などとして構成された変形可能ボディ部（２０７）から成り、前記少なくとも１個のセンサ（２８）が、前記変形可能ボディ部（２０７）の変形箇所に着せられた歪みゲージである請求項１乃至４の何れか１項記載の荷重トランスデューサ。

【請求項６】

前記荷重トランスデューサに回路モジュール（２４）が機械的及び熱的に結合されており、該回路モジュール（２４）が、メモリモジュール（２４５）と、前記荷重トランスデューサ（２０）の前記センサが発生したアナログ信号を変換するための少なくとも１個のコンバータ回路（２４３、２４４）とを含んでいる請求項１乃至５の何れか１項記載の荷重トランスデューサ。

【請求項７】

請求項１乃至６の何れか１項記載の荷重トランスデューサ（２０）を備えたことを特徴とする計量器。